

キャラクター名
藍場 憂真（あいば ゆうま）

・ プレイヤー名 _____

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

短髪、ほどよく引き締まった身体、爽やかな印象。ごく一般的高校生、帰宅部。
人当たりが良く誰とでも親しく話すが、一方で彼のプライベートについて知っている人間はほぼ皆無。
それなりに愛想は良いが、過去の経験から必要以上には他人との仲を深めたがらない。
偏頭痛は過去の経験のショックで記憶を失っていたことによる弊害。あるいは自身で無意識に封印した記憶だったのかも知れない。

藍場には友人がいた。ただの友人ではなく、自身の「複製元」となった人物が。
人工的にオーヴァードを作り出す実験の一環として作られ、
その経緯から友人は愚か、家庭環境すら上手くいかなかった藍場にも対等に接してくれた人物。
特別な存在であり、そして唯一無二の親友、有海 春樹。

だが彼は——ジャームと化した。その彼を、自らの手で殺してしまったことが記憶を閉ざす原因であった。
最期に感謝の言葉を聞いた、その記憶すら自信で封印し、友人は事故死したものだと思い込んでいた。
大筋のところはUGN支部長も知っていたようだが、結局それを直接聞く機会はなく、
エクスペリメンターの実験室に残されたメモにより、全ての記憶を取り戻した。

こうした経験から戦闘行為、とりわけ殺すということについて快く思っていない。
いざ戦うとなったときには理不尽に対する怒りを原動力として非常な生活をやり過ごしている。
緊急事態になると特に頻繁に口にする「クソ」という単語も、ある種の怒りの発露なのかも知れない。
戦闘スタイルはバリバリの近接タイプ。近づいて腕のブレードでぶった斬る 単純明快。追い詰められてからが本番。

キャラクター名
藍場 褒真（あいば ゆうま）

— プレイヤー名 —————

肉体			感覺			精神			社会		
技能	SL	修正									
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

所持品